

東洋電装グループ 英国現代奴隷法に関するステートメント（2021 年度版）

東洋電装株式会社とその関係会社(以下、「東洋電装グループ」という。)は、英国の Modern Slavery Act 2015 に基づき、2021 年度の本ステートメントを公表します。

1. 組織・事業

当社は連結グループとして世界に当社の他、子会社を 9 社有し、従業員数は 2022 年 3 月末時点で、連結 9,413 名に及びます。

当社組織及び当社グループの詳細は、こちらより確認いただけます。

<https://www.toyo-denso.co.jp/corporate/organization.html>

<https://www.toyo-denso.co.jp/corporate/offices/>

当社グループは四輪車、二輪車、汎用製品向けの電装製品の研究、開発、製造、販売をワールドワイドに展開しております。

当社製品の詳細は、こちらより確認いただけます。

<https://www.toyo-denso.co.jp/product/>

2. 経営理念

当社は「経営理念」を、次の通り定めています。

1. お客様に喜ばれる製品を世界に広げる。
2. 社員が誇りをもって働ける企業となる。
3. 社会に認められる企業となる。

<https://www.toyo-denso.co.jp/corporate/philosophy.html>

経営理念は、当社も社会の一員であるとの認識の下、社会との繋がりを強く意識したものとなっています。つまり、社会に広く受け入れられる優れた高品質の製品を開発、製造、販売することで、社会に貢献する。そして、そのような環境で働くことを社員一同が社会に誇れるような企業たることを目指しています。

3. 当社の取組みについて

当社は、日本国外に 8 社の子会社を有しており、グループ連結の従業員の 90%以上が日本国籍以外の国籍を持つグローバルな企業です。多様な人種が働く職場環境の中で、互いの人権を尊重することを重視しております。多様化する従業員の人権に十分に配慮した労働環境の整備、国際社会からの様々な要請に対応した処遇制度の確立に努めております。

2021年度においては、副業・兼業取扱い制度の導入やフレックス制度の再整備など、法律や社会要請に合致した働きやすい労働環境の整備に努め、さらにハラスメントやコンプライアンスを主題とした「コンプライアンス教育」を、弁護士を講師に招き実施し、全社での理解の定着に努めました。

また、コンプライアンスに関連した注意喚起の社内通信を年間3件発信し、全社へのコンプライアンス意識啓発も定期的に行っています。

当社グループは、電装製品の製造・販売事業を行うため、多くのサプライヤー様とのお付き合いがございます。そのため、当社のCSR、SDGsに関する考え方を公表し、人権問題などについてもサプライヤー様に遵守をお願いする事項などを提示させていただいております。

https://www.toyo-denso.co.jp/resources/img/csr/purchase/CSR_guidelines_ja.pdf

https://www.toyo-denso.co.jp/resources/img/csr/purchase/SDGs_guidelines_ja.pdf

4. これからの対応についての宣言

上記の通り当社は人権に配慮し事業を進めて参りましたが、サプライチェーンにおける実情については直接監視できないため、常にリスクを意識しなければならないと考えます。よって、今後は当社グループ一同がサプライヤーと協力して奴隷労働や、人身取引の発生防止に向け、全力を挙げて対応してまいりたいと思います。

本声明は、2022年9月19日に、東洋電装株式会社の取締役会により承認されました。

2022年9月19日

東洋電装株式会社

代表取締役社長 小出 潔

